

報告書抄録

ふりがな	こみかどこふんぐん
書名	小御門古墳群
副書名	旧県立しゃくなげ園解体工事に伴う試掘確認調査報告書
巻次	
シリーズ名	
シリーズ番号	
編著者名	水野正好・濱 修・岩橋隆浩
編集機関	滋賀県教育委員会 /財団法人滋賀県文化財保護協会
所在地	大津市京町4丁目1番1号 / 大津市瀬田南大萱町1732番2号
発行年月日	平成21年3月31日

ふりがな 所収遺跡	ふりがな 所在地	コード		世界測地系		調査面積	調査期間	調査原因
		市町村	遺跡番号	北緯	東経			
こみかど 小御門古墳群	かもうひの 蒲生郡日野町 こみかど 小御門	383	046	35° 1' 21"	136° 13' 8"	300㎡	平成20年 6月9日 ～ 平成21年 3月31日	旧滋賀県立しゃくなげ園 解体工事

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
小御門古墳群	古墳	古墳時代	古墳	須恵器・土師器	確認調査した古墳は現状保存措置。
	弥生	弥生時代 後期中葉	土坑もしくは 溝	弥生土器	古墳の下層から弥生時代後期中葉の遺構を検出し、土器が出土した。

要 約

本遺跡では、昭和40年に滋賀県立しゃくなげ園建設に伴う発掘調査が実施され、調査された古墳以外は現状保存の措置がとられた。今般、本施設の解体に伴って、解体工事が本遺跡に影響を与えるか否かを確認するための試掘調査を、現状保存された古墳の内容確認調査を実施した。

その結果、古墳を現状保存とした箇所以外は、工事に影響がないことがわかった。また、現状保存された古墳に関しては、その規模や内容のあらましが判明した。